

## 「心に残る文化財子ども塾」活動の様子～飯南町立志々小学校～

### 1. 活動の概要

令和5年6月29日（木）、飯南町立志々小学校で「心に残る文化財子ども塾」を開催しました。活動内容は勾玉作り体験の見学です。

まず、飯南町のシンボルでもある三瓶山周辺の歴史について学びました。縄文時代から古墳時代にかけて、実際の土器に触れながら当時の人々の暮らしについて考えました。実際に数千年前に作られた土器を目の前にし、細かな文様などを観察しました。また、町内の古墳についても学び、勾玉がどのように使われていたか想像することができました。

さて、いよいよ勾玉作りです。角を滑らかに削って勾玉の形にするところに苦戦しながらも、なんとか完成させることができました。

歴史の学習や勾玉作りを通して、当時の人々の暮らしの様子や勾玉作りの技術の高さを知ることができたと思います。また、地元で貴重な遺跡があることを再認識してもらうこともできました。

### 2. 活動の様子



きれいにできるかな？

### 3. 子ども塾を終えて

#### ① 児童の皆さんから

- ・土器を実際に近くで見るとも初めてだったのでとても心に残った。
- ・勾玉作りはきれいにするところが難しかったけどきれいに削ることができてよかった。
- ・土器の様子が縄文でできていて、昔の人は発想力があつたんだと思った。

#### ② 担任の先生から

- ・実物があるからこそ、体験を伴うからこそ、実りある学習になった。また、昔の人々の暮らしについて興味関心をもつことにもつながった。

#### ③ 埋文センターから

- ・町内で出土した縄文土器を実際に触れる機会を作ることができてよかった。